

市議会3月定例会 市長所信



市議会令和3年3月定例会が、3月2日から24日までの23日間の日程で開催されました。開会日に、当面する市政の重要課題について、表原市長が所信を表明しました。抜粋して要旨部分を掲載します。

全文は、市ホームページで公開しています。また、後日作成する市議会会議録は、市立図書館等で閲覧することができます。

新型コロナウイルス接種 円滑な運用に全力で取り組む

・2月22日に、保健センター内に「阿南市コロナワクチン対策チーム」を開設、3月15日には、市民の皆さまからの接種に関するさまざまな問い合わせに対応できるようコールセンターを設置しました。また、4月上旬以降には、約2万3000人の高齢者の方々にに対し、ワクチン接種券を発送します。

・本市の16歳以上の対象者約6万2000人の方々が滞りなくワクチン接種できるよう、万全の体制で取り組むとともに、国からワクチンの効用や副反応等についての情報が提供され次第、速やかに市民の皆さまに周知、広報するなど、安心、安全を担保しながら、円滑な運用に全力で取り組みます。



阿南市コロナワクチン対策チーム

令和3年成人式の開催

・延期していた令和3年成人式を、感染予防対策をしっかりと施した上で、5月3日に文化会館夢ホールで午前、午後の2部制により開催します。

・県外から帰省される新成人の皆さまがより安心してご出席いただけるよう、帰省に際して県外で受けた、PCR検査もしくは抗原定量検査に対して2万円を上限として検査費用を補助します。

令和3年度一般会計 当初予算(案)について

・令和3年度当初予算(案)は、「阿南市総合計画 咲かせよう夢・未来計画2028基本構想」において掲げた2028年の都市像「多様な産業が咲き誇る 生涯チャレンジ都市 阿南」の実現に向け、新しいまちづくり施策に取り組む第一歩となる予算です。

・コロナ禍で日常生活に制約のある幼児・児童・生徒たちが、日々の学校等の生活を「安全で」「快適に」「楽しく」過ごすことができるよう、「新型コロナウイルス感染症対策応援基金」を効果的に活用し、「学びの環境の充

を策定します。

・集中改革プランの計画期間は、令和3年度から令和5年度までの3年間とし、「行政を経営する」という視点に立ち、受益と負担の適正化を図りながら、「最小の経費で最大の効果を生み出す」という経営感覚を持った「戦略的な実践プラン」として、重点的・集中的に取り組む事項を精選し、目標を設定します。

市役所組織機構の改革

・行財政改革を実務的・横断的に牽引する組織として、令和3年度から企画部に「行革デジタル戦略課」を新設します。新設課は、行政改革部門、公共施設等総合管理計画および自治体デジタル化を担うIT推進課を統合再編し、時代、社会、市民、それぞれのニーズにしっかりと応え「新しい市役所像」を創る行財政改革実践の司令塔を担わせます。

・保健福祉部内にさまざまな課題を抱えた世帯や市民の皆さまへの対応、特に複合的な支援を必要とするケースなどに対して窓口を一本化し、地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制を構築するための業務を行う「地域共生推進課」を新たに創設します。

南部健康運動公園陸上競技場の ナイター設備を充実

・徳島電機産業株式会社様から、徳島県南部健康運動公園陸上競技場ナイター設備の「100ルクスの照度設備」への増設について、

寄附の申し出を頂きました。

・3月4日に、寄附を受けた施設設置者である県と寄附事業者様および運営主体となる市の三者による整備に関する調印式を行い、4月1日の供用開始以降に増設工事に着工いただける予定です。



照明灯具増設に関する協定締結式

スポーツ総合センターに 指定管理者制度導入をめざす

・これまでの実務レベルの調査研究の結果、スポーツ総合センターについては、民間経営のノウハウや事業手法を全面的に取り入れることが、市民の皆さまに、よりご満足いただける良質なサービスの提供、市民目線での効率的な運営につながるなどの判断に至り、指定管理者制度の導入に向け、本格的な検討に着手します。

・令和2年12月に、全庁的な検討委員会を立ち上げ、現在、具体的な制度設計に向け、鋭意検討を進めており、令和4年度からの制度導入をめざします。

実」に重点をおいた予算として編成しました。

・「財政運営の持続可能性」にも十分意を用いており、予算規模は、対前年度当初予算比マイナス0.4%となる313億3000万円の編成とし、財政調整機能を担う財政調整基金の繰り入れは、対前年度比マイナス5.1%となる13億8120万円としました。

※重点事業は、2、3ページをご覧ください。

「阿南版事業仕分け」について

・来年度は、市民判定期や傍聴人の皆さまからいただいたご意見を参考に、今年度の成果と課題を踏まえ、実施方法にさらなる検討を加え、5つの事業を対象に実施したいと考えています。

・事業名を「阿南の未来「自分ごと」会議」に変更し、「市民による事業評価会議」という分かりやすい副題を付けて実施し、より幅広い市民の皆さまの関心と共感をいただける制度運用をめざします。

行財政改革を加速する

・新たな「行革の推進エンジン」として、令和3年7月を目標に「行財政集中改革プラン」

JR阿南駅周辺の再整備

・JR阿南駅周辺エリアの「新たな都市拠点」づくりに向けて、令和3年度より、本格的な在り方の検討に着手します。

・老朽化・耐震不足の市民会館・阿南図書館については、これまでの市としての検討の積み重ね、さらには、議会での議論を踏まえ、市民会館は廃止し、解体除去を行い、跡地を中心とした空間を活用した新たな拠点づくりに取り組むたいと考えています。

・新たな拠点づくりの検討においては、「JR阿南駅周辺再整備基本計画(案)」において、「市民会館・ひまわり会館の再編整備を検討し、跡地は高密度の住宅地として整備し、集客ならびにまちなか居住の推進を図る」として、「都市型居住エリア」とのコンセプトが示されていることから、このコンセプトを議論のたたき台としながら検討に着手します。

・現在の図書館は利用を中止させていただくとしたことから、跡地の活用には「図書館機能」を盛り込むことも選択肢に入れ検討を行います。

・まちづくりの専門家の英知とともに、広く市民の皆さまのご意見も賜りながら、生涯チャレンジ都市阿南にふさわしい「官民連携」による阿南駅周辺の「将来に夢や希望を持てるビジョン」をしっかりと描いてまいりたいと考えています。